

子ども、若者から高齢者まで、いきいきと暮らせるまちへ！



西東京市議会公明党 大林 光昭

問 田無駅南口駅前広場について、用地取得状況と提案しているスペース活用の検討状況を問う。南口駐輪場の一時利用エリアを拡充すべき。
答 取得予定のうち約70%の契約に至った。多世代交流やインスタ映えするおしゃれな空間などを検討中。駐輪場は、定期利用エリアの一部を一時利用エリアに変更する。
問 MUFG PARKの避難広場の在り方や防災設備配置を協議すべき。
答 地域防災力の充実強化に向け、調査検討する。
問 法律や税務などの専門相談機能を拡充すべき。
答 希望の日時に予約が取りづらいなどの声があり、検討していく。
問 新町福祉会館の地域利用や夜間・週末利用など有効活用を提案している。検討状況を問う。

答 令和5年度からの地域利用の試行実施に向け準備を進めている。
問 児童生徒がオンライン上で学習できる通称MEXCBTの活用を提案している。検討状況を問う。
答 校長会と検討していく。
問 学校給食費の保護者負担軽減措置を来年3月まで講じている。4月以降も継続すべき。
答 保護者負担の軽減を検討する。



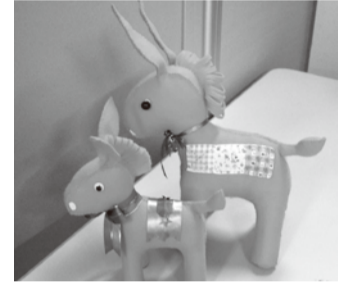
子どもたちの不安への対処方法、自尊感情・自己肯定感の醸成に資する取組の充実を。



西東京市議会公明党 田代 伸之

問 今後のデジタルデバインド対策を若者の意見を取り入れながら進めることを提案している。検討状況は。
答 大学と連携した取組を検討する。
問 デジタル障がい者手帳「ミライロID」活用の検討状況を問う。
答 現在、庁内調査を実施し公共施設等での利用について検討している。
問 市域全体での児童発達支援体制の拡充を求めてきた。取組を問う。
答 田無総合福祉センターにおける候補事業者が決定。本事業も含め市と民間事業者との連携を進め、ひらぎの療育の質を共有し、発達への不安を地域で支える体制構築を図る。
問 認知症の方、支える御家族への適切な支援の拡充を求めてきた。認知症施策は、健康応援都市の実現を目指すまちづくりの視点で着実に進めるべきと考える。検討状況は。

答 今後は、これまでの事業の検証と併せ、まち全体でのチームオレンジの推進、情報発信・共有の体制構築に向け、市が支援の面的プロデュース機能を担うものと考えている。
問 子どもたちの不安への対処力を高める教育を進めるべき。現在の取組は。
答 リフレーミングを用いて見方や考え方を捉え直し、物事を前向きに解釈するなど学校ごとに取組を実施。



認知症サポーターオレンジロバ

田無三中の建て替え時には地域図書館を併設し、多世代の交流拠点とするよう提案



西東京市議会公明党 佐藤 公男

問 田無三中の建て替え時には多世代が集える施設として、図書館との複合化も一つの選択肢ではないか。
答 学校との複合化の検討としては図書館も選択肢の一つとなり得る。
高年齢者などの活動場所の拡充を
問 午前中の児童館を地域に開放するなど、公共施設の有効活用を求め。
答 先行実施している館の検証をし、分野横断的な施設利用を検討する。
男性トイレへサニタリーボックスを
問 膀胱がんや前立腺がんなどで尿取りパッドを使用している方から、公共施設の男性トイレにサニタリーボックスを置いてほしいという声を多く聞く。早急に進めるべき。
答 まずは市庁舎、図書館、公民館、福祉会館への設置を進める。

テニスコートの利用方法の改善を
問 テニスコートの支払い方法が、ばらばらだったり、駐車場の利用方法、事務所の対応など、改善に向けて指定管理者との調整を求め。
答 利用者満足度の向上に努める。
文化芸術振興基金を子どもたちに
問 ネーミングライツの収益を文化芸術振興基金に繰り入れ、もっと子どもたちのために使うべきである。
答 効果的な活用方法を検討する。



田無第三中学校

抗がん剤治療による外見の変化や社会生活を支えるウィッグや乳房補正具助成を検討せよ



西東京市議会公明党 藤田 美智子

問 18歳以下の子どもへの1人1万5,000円の給付について、公明党は所得制限の撤廃と、年内給付を強く求めてきた。支給日はいつか。
答 申請不要の方は12月21日に給付、必要な方は12月1日から申請受付、12月19日までの申請者には12月28日に給付予定である。
問 学校のがん教育で、ウイルスによる子宮頸がんについても実施を求めているが、進捗状況は。
答 子宮頸がんが予防できるがんであることなどについて出前授業を進める。正しい知識と自他の健康と命の大切さを学び、共生社会づくりに寄与する資質・能力の育成を図る。
問 がんによる外見の変化でつらい思いをする人が少なくない。公明党は外見の変化に悩む人への配慮に力を入れてきた。心理的な苦痛を和ら

げ、社会生活の中で今までどおりに過ごすことを支える必要がある。ウィッグや乳房補正具等の購入費用が負担となっている。本市で独自に費用を助成できないか。
答 社会とのつながりをサポートする取組も重要。市医師会との意見交換、公立昭和病院に設置されたがん相談支援センターからの情報等にも注視し、支援内容を検討していく。



コロナ禍であるからこそ「フェア」な政治を大学生等の高等教育世代がいる世帯に支援を



無所属③ 納田 さおり

問 コロナ禍、市民が求めているのは、「フェアな政治」だ。市長を支持する者に偏った市政になっている。行政の矜持は、どうなっている。
答 首長と議会それぞれの権能において、抑制と均衡の取れた関係を築き、住民福祉の向上を目指す中で、まちづくりを進めていくものと認識。
問 都は10年ぶりに首都直下地震等の被害想定を見直した。都全体では被害想定が減少した中で、西東京市は、逆に大きく増加し、被害想定優先順位も倒壊から火災リスクに大きく変動した。見解を求め。
答 火災被害の増加は把握している。令和5年度早期を目途に修正予定の東京都の計画を踏まえ、本市も来年度以降、計画修正に取り組む。
問 高等教育のニーズが高い現状において、教育費負担の問題が置き去

りにされ、学生の親世代が高齢化すると、低所得化する原因にもなり、大問題だ。可処分所得が最も圧迫されている大学生等高等教育世代がいる世帯に対する支援策について、見解を求め。
答 引き続き国や東京都の動向等を注視しつつ、真に支援を必要とされている方々への支援策について検討していく。



田無警察署移転に伴い運転免許更新センター新設を要望する



西東京市議会公明党 小幡 勝己

問 今後の地方交付税の動向、新たな財政予測をどう捉えているか。
答 ゼロカーボンシティ宣言に基づく取組やDXの取組も更に推進する。
問 マイナンバーカード口座情報登録はメリットがないとの声があるが。
答 義務ではない。預貯金残高等の情報が国に知られることはない。
問 田無警察署が農協の跡地への移転を進めている。移転に伴い免許更新センター併設を要望する。
答 東久留米市長と共に要望書を提出。警視庁は必要性を認識し、「調整し進める」と回答。実現を目指す。
問 イングビル入居者の家賃、光熱水料支払いの口座振替導入を。
答 検討する。
問 市の指定ごみ袋が品薄である。
答 委託事業者と調整等を図り、11月から新たな工場生産している。

問 配食サービス見直しは。
答 事業者の公募を12月末に行い、2月初旬に事業者選考、決定を行う。
問 老人クラブ会員減少への対策は。
答 寄り添った活動の支援を進める。
問 市道がきれいな状態に感じる。
答 路線選定や効率的執行に努める。
問 小中学校水飲み場蛇口のレバーハンドル設置の児童生徒の感想は。
答 評判がいい。



可燃ごみ・不燃ごみ 兼用袋

プラスチック容器包装類 専用袋

*チームオレンジ 認知症サポーター（認知症を正しく理解し、地域で生活している認知症の方や家族を見守り、自分でできる範囲で支援する方）を中心とした支援チームのこと。
*リフレーミング 物事を見る枠組み（フレーム）を変えて、違う視点で捉え、ポジティブに解釈できる状態になること。
*インスタ映え 写真や動画を投稿したり見るとをメインとするSNS「Instagram」に写真を投稿した際に、見栄えが良かったり、おしゃれな写真だったりするときに使われる表現。
*MEXCBT(メクビット) 文部科学省CBTシステムのこと。GIGAスクール構想により、児童生徒1人1人端末環境が整備されたことを踏まえ、児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアセスメントができる公的CBT(Computer Based Testing)プラットフォーム。